

弥富公民館

## 弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流とその2本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群であり、佐倉市の南部に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接して697世帯、1,465人が住み、約13.3km<sup>2</sup>の面積を持つ穏やかな田園地帯となっている。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積、農業戸数・農業者人口とも減少を続けており、弥富地区のほぼ全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加が見込み難い現状にある。

このような中で、企業の研究所の設置や美術館の開館、さらに弥富地区と千葉市にまたがる地域にちばりサーチパークという研究施設等の大規模開発が行われ、新しい時代に向かった流れが徐々に広まりつつある。

### 弥富地区のデータ

【令和4年3月末現在】

- 弥富地区：面積 約13.3km<sup>2</sup>（佐倉市：面積 103.69km<sup>2</sup>）
- 弥富地区：住基人口 1,465人（佐倉市：住基人口 171,747人）
- 弥富地区：人口密度 110人/km<sup>2</sup>（佐倉市：人口密度 1,656人/km<sup>2</sup>）

# 1. 公民館運営計画

---

## 新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

## 運営方針

地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努める。

## 努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。
- 地域の実情に即した学級・講座の充実を図る。
- 地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館となるように努める。
- 小学校・幼稚園の保護者との連携を密に保つ。
- 地域で活動している諸団体と協力体制を強化し、相互の活動が活発化するよう図る。
- 公民館施設が有効利用されるよう努める。

## 事業内容

### 1. 学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にする。

### 2. 広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや、地域の学習、生活情報の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

### 3. 施設の提供

- 開館時間      ①月・日曜日、祝日    午前9時～午後5時
- ②火～土曜日            午前9時～午後9時
- ※夜間の利用申込が無い場合は、午後5時で閉館

- 休館日        第2・第4月曜日及び年末年始（12月28日～1月4日）

## 2. 公民館利用状況

### 年度別利用状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用件数 (件)	1,326	1,290	981	290	481
利用人数 (人)	10,355	13,854	10,603	3,586	3,849
開館日数 (日)	333	333	309	230	333

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 3 年 8 月 4 日～9 月 30 日・・・閉館時間を午後 8 時までに短縮

### 令和 3 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大会議室	3,603	662	18.4%
中会議室	3,603	448	12.4%
調理実習室	1,316	97	7.4%
和室	3,603	158	4.4%

※調理実習室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、令和 3 年 11 月 15 日から利用再開（館内飲食不可）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、線引き事業については中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室 「デジタル時代の子育てを一緒にアップデートしませんか？」	成人 54人	2/19 1回 20人	スマートフォンやタブレットなどの普及に伴い、デジタルメディアを子どもが家庭で使用する際に、子育て・孫育て世代がどのようなポイントを押さえ、教育の観点から活用できるかを学習した。
青少年教育	佐倉っ子塾 弥富剣道教室	小学生 20人	5月～3月 31回 8人	剣道の稽古を通じて児童の心身を鍛錬し、千葉県指定無形文化財「立身流」をも学んだ。
	星空観察会	小学生と 保護者 12組	11/6 9組	弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで天体・科学への興味を育んだ。
	佐倉っ子塾 なんでも体験弥富塾	弥富小学校 児童 10～20人	7/29 6人 8/18～19 5人 12/18 7人 1/8 10人	様々な体験を通じて子供たちの創造性や協調性、豊かな心を育んだ。 7/29「やとみ絵画教室」 8/18～19「クラフトバンドでつくる塩古ざるづくり」 12/18「たこ作り大作戦！Inなんでも体験弥富塾」 1/8「おもちゃで成木をつくろう」
成人教育	グラウンドゴルフ大会	弥富地区の 住民 40人	6/26 37人	児童から高齢者まで一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、地区住民の健康増進と世代間の交流を図った。
	地域防災講座	弥富地区の 住民 40人	11月～12月 2回	地域の防災力向上を目指して実践的な講習、訓練等を行う。
	「くらしの講座」 布ぞうりづくり	市内の成人 5人	3月 1回	弥富地区で継承されてきたぞうりづくりの技法を次代に伝えるとともに、世代間を越えた交流を図る。また、地域人材の活用・育成を図る。
成人教育 佐倉学	佐倉学入門講座 歴史講座「弥富の歴史」	市内の成人 12～24人	6/24 28人 10/23 35人 12/16 13人	地域の歴史について学ぶ講座等を開催し、郷土への愛着と関心を高めた。 6/24「弥富の伝説」 10/23講演「近世の玉縄北条氏ー北条氏勝・氏重について」（宝金剛寺・文化課・和田公民館と共催） 12/16「弥富文化財収蔵庫見学会」 6/24はオンライン（ZOOM）配信も実施した。
	佐倉学入門講座 「弥富野草散策観察会」	市内の成人 10人	5/14 9人 3/28	弥富地区の豊かな自然・植生・野草を散策・観察し、ふるさとへの関心を高め、現地の散策・観察会を通して郷土を学ぶ機会とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育 佐倉学	<del>佐倉学体験講座 「クラフトバンドで 塩古ざるづくり」</del>	<del>市内の成人 8人</del>	<del>3月</del>	<del>弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝 わるざる作りを次世代に継承するた めの入り口として、簡易な材料を使 用して編み上げ技法を学ぶととも に、地域人材の活用・育成を図る。</del>
	佐倉学体験講座 「竹炭づくり体験」	市内の成人 10人	11/25～26 10人	昔より伝わる竹炭づくりの技法を体 験することにより、弥富地区の自然 と伝統について理解を深めた。
団体育成	地域団体支援	弥富地区の 住民	通年	ふるさと弥富を愛する会・弥富地区 社会福祉協議会・青少年相談員・弥 富地区青少年育成住民会議の活動に 対する協力・支援を行った。
広報活動	公民館だより	弥富地区 全世帯	5/ 7 700部 11/ 8 700部 1/11 700部	公民館事業の案内、募集、施設利用 等の情報提供を行った。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年	佐倉市立図書館の協力により図書 コーナーを充実させ、図書の貸出・ 返却を行った。

# 1. 家庭教育事業

## 子育て教室

①開設趣旨 子育てにおける家庭の働き、あり方や子供の発達に必要な事柄を学習する。

②募集対象 成人 54人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月19日（土） 14:00～15:00	「デジタル時代の子育てを一緒にアップデートしませんか？」	愛知淑徳大学 人間情報学部教授 佐藤 朝美

④講座を終えて 当初、愛知淑徳大学と弥富公民館をオンラインで結ぶことにより、弥富公民館をサテライト会場とするとともに、自宅等でもZoomミーティングを利用して受講できるように設定していた。しかし、実施日が新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置期間中であったため、会場に集まるサテライト会場でのビューイングは中止とし、Zoomミーティングでのオンライン受講のみとした。

また、当日は時間的に参加できない希望者のために、参加申込者限定でのYouTube配信を1週間行った。

参加者からは子どもにスマートフォンやタブレットなどで動画を見せることに罪悪感を持ったり、自分が子どもの時代には無いツールを使用することに対する不安を感じていたりするなどの意見が多かった。今回の講座は、考え方もめまぐるしく変わっていくテーマであるため、依存することでも、忌避することでもなく、デジタルメディアとバランスよく付き合う今日的方法を学ぶことができた。

## 2. 青少年教育事業

### 佐倉っ子塾 弥富剣道教室

①開設趣旨 弥富地区に伝わる千葉県指定無形文化財「武術 立身流」の次代継承と剣道の稽古を通して、児童の心身の鍛錬と健全育成及び異年齢交流を図るとともに郷土愛を育む。

②募集対象 小学生 20人

③期間・回数 令和3年5月～令和4年3月 31回

④学習内容 剣道の技術習得と立身流の基礎の学習

⑤指導者 檜村 典久、田中 眞次、山本 幹夫、加賀谷 順

⑥講座を終えて 千葉県指定無形文化財「武術 立身流」の技と精神を学ぶとともに、剣道の稽古に励み、子どもたちの心と体を鍛えることができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、まん延防止等重点措置が発出されている期間については事業を中止し、再開の際には全日本剣道連盟が公表した「対人稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を基に「弥富剣道教室対人稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を遵守したうえで、事業を実施した。

### 星空観察会

①開設趣旨 弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで天体・科学への興味を育む。

②募集対象 小学生と保護者 12組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月 6日（土） 17：30～19：30	秋の星空観察会	染井野星の会

④講座を終えて 土星・木星に焦点を当てた望遠鏡での観察及び肉眼での星座の観察を行った。天候に恵まれ、土星の環や木星の縞・衛星などを観察し、天体と星空の美しさと宇宙の広がり親子で体感することができた。

### 佐倉っ子塾 なんでも体験弥富塾

①開設趣旨 様々な体験を通じて子どもたちの創造性や協調性、豊かな心を育む。

②募集対象 弥富小学校児童 10～20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月29日（木） 9：30～12：00	やとみ絵画教室	村上 忠
2	8月18日（水） 8月19日（木） 13：00～16：30	クラフトバンドでつくる塩古ざるづくり	ふるさと弥富を愛する会 ほか
3	12月18日（土） 9：30～12：00	たこ作り大作戦！ Inなんでも体験弥富塾	佐倉市青少年相談員
4	1月 8日（土） 9：30～12：00	おもちゃで成木をつくろう	公民館職員

④講座を終えて 今までのなんでも体験弥富塾は、年間の連続講座として行っていたが、講座内容により参加率の増減が激しいため、今年度から各講座で募集を行うこととした。  
絵画や工作、伝統行事など様々なプログラムを通じて子どもたちの豊かな心を育む機会を提供することができた。

## 3. 成人教育事業

### グラウンドゴルフ大会

①開設趣旨 児童から高齢者まで幅広い世代と一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、異世代間の交流と地区住民の健康増進を図る。

②募集対象 弥富地区の住民

③実施日・回数 令和3年 6月26日(土) 13:30～16:00 1回

④学習内容 グラウンドゴルフ

⑤講座を終えて 多くの高齢者に参加してもらうため地域団体との共催とした。プレーにあたってマスクの着用や消毒など、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しつつ、楽しくグラウンドゴルフをしながら、地域住民の健康増進と異世代間の交流を図った。プレー途中で会場となった弥富小学校グラウンドにドクターヘリの離発着があったため、途中で中止となってしまったことが、少々残念である。

### 地域防災講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

### 「くらしの講座」 布ぞうりづくり

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

### 佐倉学入門講座 歴史講座「弥富の歴史」

①開設趣旨 高齢者から現役世代成人を対象に地域の伝統・文化・歴史について学び、伝えていく講座を開催する。

②募集対象 市内の成人 12～24人 動画配信(1回目)

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月24日(木) 14:00～15:30	弥富の伝説とその周辺	佐倉市史編さん委員 内田 儀久
2	10月23日(土) 14:00～15:45	近世の玉縄北条氏 —北条氏勝・氏重について—	千葉県立郷土博物館 総括主任研究員 外山 信司
3	12月16日(木) 9:45～11:45	弥富文化財収蔵庫見学会	大野 尊史 文化課職員

④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症への対応を考慮する中で、参加人数を制限するとともに、連続講座を見送り、単発の歴史講座として実施した。なお、1講座目はZoomミーティングを使用してオンライン配信も同時に行った。

1講座目は、弥富地域の昔話・伝説を取り上げるとともに、その周辺の時代と関連する事柄に話題を広げ、地域の歴史への理解・関心を高める契機とした。

2講座目は、宝金剛寺(直弥)・和田公民館との連携事業として実施した。岩富城主の北条氏勝が同寺に寄進した七条袈裟・横被の修復が完了し、今後始まる企画展等の活用事業に関連する講座を行い、地域の歴史への理解・関心を高める契機とした。

3講座目は、旧弥富小学校敷地内にある「民俗資料展示室」及び「旧弥富小学校校舎」の現地見学会を実施した。地域の農村生活における民具等を実際に目にすることにより、昔の暮らしを伝えていくとともに、埋蔵文化財の出土品の収蔵・保管・整理の現場を見学し、地域の歴史と埋蔵文化財への理解と興味を深める機会とした。

### 佐倉学入門講座 「弥富野草散策観察会」

①開設趣旨 弥富地区の豊かな自然・植生・野草を散策・観察し、ふるさとへの関心を高め、現地の散策・観察会を通して、郷土を学ぶ機会とする。

②募集対象 市内の成人 10人 動画配信

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月14日（金） 9：00～12：00	弥富野草散策観察会	千葉県自然観察指導員 阪上 津留美

④講座を終えて 飯塚地区の豊かな自然と谷津田、社寺や史跡の風景と共に、様々な野草を観察し、ふるさとへの関心と誇りを高め、郷土について学んだ。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、参加人数を制限したうえで、活動内容の動画をオンライン配信し、参加できなかった方へも学習機会を提供するとともに、広く地域の歴史を紹介した。

### 佐倉学入門講座 竹炭づくり体験

①開設趣旨 昔より伝わる竹炭づくりの技法を体験することにより、弥富地区の自然と伝統について理解を深める。

②募集対象 市内の成人 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月25日（木） 9：30～12：30 11月26日（金） 9：30～10：30	一日目 窯組み～火入れ 二日目 取り出し	中村 恵夫

④講座を終えて 竹炭づくり体験は弥富地区ならではの講座であり、他地区の方に弥富地区の良さを伝える事ができた。

例年では、午前から昼食を挟んで午後にかけての1日講座として、あらかじめ焼いておいた竹炭を窯から取り出した後に、窯組み・火入れを行い終了とするプログラムだった。今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対応として、一堂に会して昼食をとることを避け、作業を2日間に分け、本来の作業手順どおりに実施する方法に変更した。

## 4. 団体育成事業

---

### ふるさと弥富を愛する会

ふるさと弥富を愛する会は、平成20年9月12日に佐倉市市民協働の推進に関する条例第10条の規定に基づく市の認証を受け、弥富地区を活動区域として、主に次の活動を行っている。

1. 地域住民及び団体相互の連絡、交流、調整等を行う。
2. 自然環境保全事業として「ホテルの里づくり」や「ビオトープ整備」等を実施する。
3. 伝統文化継承事業として「どんど焼き」の継続実施や、歴史文化事業を実施する。
4. 健康福祉増進事業として、グラウンドゴルフ大会を実施する。
5. 安全安心事業として、防災訓練・防災講演会等を実施する。
6. 広報事業として、広報紙の発行等を実施する。

弥富公民館では、各種事業に関する協力、支援を行っている。

### 弥富地区青少年健全育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。そのため市民一人ひとりが課題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などの構成団体からなり、事務局は佐倉市こども支援部こども政策課が行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成、非行防止及び福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみの活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営などを行っている。

弥富公民館では、地区グラウンドゴルフ大会などの事業実施に協力している。

## 5. 広報活動事業

---

### 公民館だより

- ねらい 公民館事業の案内、募集、施設利用等の情報提供を行う。
- 発行回数 年3回（5・11・1月号）
- 発行部数 700部/回
- 配布方法 弥富地区の各区長を通じて全戸配布、公民館に配架

## 6. 図書事業

---

### 図書貸し出し

- ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い学習の深化を図る。また、地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。